

掲示板

研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成十四年七月～九月)

○日露経済セミナー農業部会

主催 日露経済セミナー実行委員会

とき 平成十四年8月30日

テーマ 北海道農業における先端技術

報告 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○札幌市農業講座「さつぼろ農

学校

主催 札幌市農政課

とき 平成十四年9月19日

テーマ 都市住民と農業のかかわり

講義 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○訓子府営農指導協議会研修

主催 訓子府営農指導協議会

とき 平成十四年9月19日

テーマ 農業振興計画策定のポイント

意見交換 高田 稜

(当研究所・研究部長)

黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○J A中標津担い手創出協議会

講演会

主催 J A中標津担い手創出協議会

とき 平成十四年9月24日

テーマ 北海道農業の回生は酪農・酪農村から

農・酪農村から

講演 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○JICA農業研修 中東欧一市場経済コース

主催 海外技術協力事業団

(帯広センター)

とき 平成十四年9月26日

テーマ 北海道農業の支援システム

講義 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

雑誌への投稿の実績

(平成十四年七～九月)

○黒澤 不二男

「地域農業の舵取りに乗り出す

スーパ―農業者」

「農村ニュース」

2002年10月号

2002・9 国際農業社

当面の主要業務

スケジュール

(十～十二月)

○J A連合会から委託された調査

研究「農協事業・運営体制の整備に関する意向調査」の回収・

入力・解析作業実施中

○10月下旬「常任幹事会」、11月

中旬「幹事会」、下旬「理事会」

開催予定

○11月上旬「出版助成審査検討会」

開催

○来年1月中下旬「地域農研主催

総合農業研修会」開催

会場・テーマは現在未定、確定

したい「研究所ホームページ」

に掲載

◇ ◇ ◇

DATA FILE

関連事項/DATA

(財)北海道農業開発公社

〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目
☎011(271)2231

ホクレン農業協同組合連合会

〒060-8651
札幌市中央区北4条西1丁目3番地
☎011(232)6108 広報宣伝課

札幌大学

〒062-8520
札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1
☎011(852)1181

JAいわみざわ

〒068-0022
岩見沢市2条1丁目1
☎0126(25)2211

東藻琴村

〒099-3200
網走郡東藻琴村360番地1
☎0152(66)2131

JA東もこと

〒099-3292
網走郡東藻琴村754
☎0152(66)3301

(社)北海道地域農業研究所

〒064-0004
札幌市中央区北4条西7丁目1
☎011(281)2566
E-mail: kaihous@chiikinouken.or.jp

編集後記

夏らしい暑い日差しのないままトンボが飛んで、いつの間にか秋も深まった今日この頃であるが、農家としては異常気象の割にはまあまああの収穫となったことを喜ぶべきだろうか。

秋の夜空には月とスキがよく似合う。それにしても札幌の夜空に輝く星の数はなぜこんなに少な

いのだろう。先日、調査で一泊した穂別の夜空の星は札幌の倍はあった。また、数年前旅したネパールの山の中腹のホテルから見た天の河は、まさにさざ波のように星が連なっていた。月がグンと手前であって、手が届きそうに感じたのも大げさとは言えなかった。百年とは言わず私達の父母達はこんな空を見上げて育ったのか。

先日読んだ雑誌の中に、ポリネシアの人々は当てもなく何千キロも航海して、偶然南の島々を発見したのではなく、ちゃんと星と波を読んで目的地に到着する航海術を持っていたということが書かれてあった。私達の生活はこの自然の恩恵の元に成り立っている。特に農業は自然との関わりの多い職業である。一般の人々よりも自然を意識する機会が多い。ならば、自然から収奪するのではなく、ポリネシアの人々のように自然から

学ぶ必要がある。

